

(財) 中海水鳥国際交流基金財団の概要

代表者名 理事長 角 博明(平成 23 年 5 月より)
会員数 職員 7 名 理事 13 名 監事 2 名
所在地 〒683-0855 鳥取県米子市彦名新田 665
電話 0859-24-6139
FAX 0859-24-6140
E-mail info@yonago-mizutori.com

活動歴

平成 7 年 3 月 (財) 中海水鳥国際交流基金財団設立。
平成 7 年 4 月 米子市から米子水鳥公園の管理を受託 (以後、継続)。
平成 7 年 10 月 米子水鳥公園オープン。
平成 8 年 1 月 第 1 回水鳥の絵と作文コンクール実施 (以後、毎年開催)。
平成 9 年 3 月 コハクチョウの発信機による渡りのルート調査実施。
平成 11 年 1 月 日本白鳥の会全国大会開催 (米子コンベンションセンター)。
平成 11 年 5 月 東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワークに加入。
第 1 回子ども野鳥クラブ開催 (以後、毎年開催)。
平成 11 年 8 月 日本鳥類標識協会のロシアのカムチャッカ調査に指導員が参加。
平成 11 年 9 月 日本鳥類標識協会米子大会開催 (米子コンベンションセンター)
平成 11 年 11 月 彦名・水鳥ふれあいウォーキング大会開催 (以後、毎年開催)
平成 12 年 10 月 鳥取県西部地震発生。米子水鳥公園の施設に大きな被害を受け、平成 12 年末日まで休園。ネイチャーセンターは平成 13 年 10 月まで休館。
平成 12 年 12 月 密猟対策連絡会全国大会 (夢みなとタワー) に協力。
平成 13 年 1 月 元旦より再開園。再開園記念ハクチョウ観察会を実施。
平成 13 年 3 月 ロシアの鳥類学者ウラジミール博士を米子に招へい。講演会や鳥類の共同調査を行う。
平成 13 年 7 月 ロシアのウラジミール博士と共同で、ロシア・レナ川デルタ地帯でコハクチョウの標識調査実施。
平成 14 年 7 月 財団指導員が東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク・国内コーディネーター着任。(～現在)
平成 14 年 11 月 国民文化祭「鳥のフェスティバル」に協力。鳥取県と共催で、第 57 回全国野鳥保護の集いイベント「環日本会野鳥フォーラム」開催(鳥取県立武道館)。
平成 15 年 1 月 米子水鳥公園友の会会員と共に、韓国・チョンス湾を訪問。韓国との初めての交流事業を実施。

平成 15 年 11 月	韓国との水鳥湿地交流を行い、東アジア・シベリア地域ガンカモ類シンポジウム 2003(韓国)で研究発表を行う。
平成 17 年 4 月	環境省グリーンワーカー事業国指定中海鳥獣保護区におけるカワウの生息状況調査(平成 17, 18, 20~23 年度) 受託。 滋賀県立琵琶湖研究所受託研究「鳥類による水生植物の運搬機能会席」(平成 17~19 年度) 受託。
平成 17 年 11 月	ロシアの鳥類学者アレクサンダー博士夫妻、エフゲニー博士、日本雁を保護する会の池の内俊雄氏を招へいし、国際交流講演会を開催。
平成 17 年 8 月	財団 10 周年記念シンポジウム開催(米子市文化ホール)。水草研究会第 27 回全国集会開催(米子市文化ホール)。
平成 17 年 11 月	第 9 回ラムサール条約締約国会議(ウガンダ)に米子の高校生を連れて参加。第 1 回 KODOMO ラムサールに参加。
平成 17 年 12 月	ラムサール条約登録報告会に高円宮妃殿下を招へい。米子水鳥公園の指定管理者に選定され、平成 18 年 4 月 1 日~平成 23 年 3 月 31 日の期間、米子水鳥公園の管理を米子市から受託。
平成 18 年 11 月	KODOMO ラムサール近畿・中国ブロック交流(米子市・平田市)に共催団体の一つとして参画。ユーリ・ゲラシモフ博士を迎え、国際交流講演会を開催。
平成 19 年 7 月	日・中・韓子ども湿地交流 in 韓国・安山(韓国)に、中海の子ども 4 名を派遣。
平成 20 年 2 月	KODOMO ラムサール全国湿地交流<中海・宍道湖>(松江市)に共催団体の一つとして参画。第 1 回「中海の環境を子どもと語る会」開催。(以後、毎年開催)
平成 20 年 4 月	国際ウェットランドセンター・シンポジウム(韓国)に指導員が招待され、事例発表。
平成 20 年 10 月	第 10 回ラムサール条約締約国会議(韓国)にあわせて、「KODOMO ラムサール in 韓国」を豊岡市と共同開催。小学生 3 名を派遣。
平成 21 年 2 月	「豊岡 KODOMO ラムサール」(豊岡市)に協力、小学生 8 名を派遣。
平成 21 年 6 月	タカラハーモニストファドより研究助成を受ける。
平成 22 年 10 月	島根県・鳥取県連携事業「北東アジア子ども湿地交流会」を韓国から子どもを招待し米子水鳥公園において受託実施
平成 23 年 10 月	島根県・鳥取県連携事業「子どもラムサール全国湿地交流会」を全国 6 湿地より子どもを招聘し米子水鳥公園で受託実施

現在の活動内容

米子市から受託している米子水鳥公園管理業務に加え、財団の独自事業である、鳥に関する国際交流・調査研究・普及啓発の各事業を継続中。

活動成果

●米子水鳥公園管理受託事業

- ・平成7年10月以降、米子水鳥公園の管理を米子市から受託し、米子水鳥公園の自然環境を維持管理。開館以降のネイチャーセンター累計入館者数は、2010年3月現在521515名。

●国際交流事業

- ・韓国との国際交流事業を実施（平成15年、平成16年、平成17年、平成19年）。
- ・ロシアとの国際交流事業を実施（平成11年、平成13年、平成16年、平成18年）。
- ・東アジア地域ガンカモ類重要生息地ネットワーク（現、東アジア・オーストラリア地域フライウェイパートナーシップ）に加盟。以降、財団職員がガンカモ類国内コーディネーターに着任（1999年5月以降）
- ・ラムサール条約に関連する活動を継続して実施。ラムサール条約第9回締約国会議では、地元の高校生を連れてサイドイベント「KODOMO ラムサール」に参加。以降、KODOMO ラムサール関連事業に継続して参画した。現在は、生物多様性条約の関連イベント「KODOMO バイオダイバシティ」に参画中。

●調査研究事業

- ・平成7年10月以降、米子水鳥公園に飛来する鳥類をモニタリング。毎週1回、園内の全ての野鳥の種類と数を記録し、データベース化。園内で確認した野鳥は、開園から2010年8月現在までに200種類。外来種を含めると203種を記録。
- ・地中海のカワウの生息状況を継続調査（2006年以降）。繁殖状況の調査や、個体数増加の抑制実験などを実施。タカラハーモニストファンズなど補助金を得た研究、カワウなどの受託研究も実施している。

●普及啓発事業

- ・自然観察会、手作り自然教室、子どもラムサールクラブ等の主催事業を毎年実施。年々参加者数は増加しており、2009年度実績はのべ12530名。
- ・世界湿地の日記念イベントを2003年以降毎年開催。
- ・環境教育ミーティングへの参加発表（2000年以降毎年6月または11月）。

●ボランティア連携

米子水鳥公園の自然環境の維持管理や、財団の事業に関するサポートに多くの市民・企業ボランティアが活動。開園以降、毎年のべ1000名以上のボランティアが活動しており、2009年度実績はのべ1109名。

受賞歴

環境功勞者大臣表彰(2011年)